

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

# 直東学園ニュース

直東学園版

令和3年度 第3号  
令和3年7月25日発行  
＜発行・編集＞  
直東学園 事務局  
〒942-0041  
新潟県上越市安江 282-1  
(上越市立直江津東中学校内)  
TEL : 025-543-2729  
FAX : 025-543-4150  
E-mail : higashi-cs@jorne.or.jp

がんばった!!

## 運動会・体育大会

各小学校で運動会・体育大会が開催されました。

P T Aの方などから、グラウンドコンディションを整えたり、運営に協力いただいたりしました。また、種目等を考慮して、コロナ感染症対策も十分に行いました。

一年ぶりの開催に大いに盛り上がった楽しい一日でした。



### — 有田小学校 「Go! Go! Festival in あいた」 5月22日(土) —

コロナ禍でも、やれることをカタチにしていく。地域・保護者・学校…そして、子どもたちの願いでもあります。新しい形の運動会として、名称も「Go! Go! Festival in あいた」と一新し、赤・白・青・黄の4軍で競われました。子どもたちの安全・安心を担保するために、直前までP T A役員の皆さんと相談し、低・中・高学年の3部に分ける分散型にしたり、昼食は三密を避けるために給食にしたり、参観者全員の検温を実施したり…等の対策を行いました。

子どもたちも、ソーシャルスタンスをとることのできる応援団以外はマスク着用の上、拍手で応援するなどの工夫をしました。短時間でもめりはりを付けて練習したことにより、当日はきびきびとした動きを披露するとともに、フィールドを全力で疾走する姿をご覧いただくことができました。



### — 保倉小学校 「ほくらスポーツフェスティバル」 5月23日(日) —

雨によりグラウンド状態がよくなかったため、1日順延して実施しました。また、新型コロナウイルスの感染状況を考慮して、今年度も保倉地区体育大会としてではなく、小学校のみの「ほくらスポーツフェスティバル」として、感染症対策を徹底した上で行いました。

「電光石火 心を燃やせ! 走り切れ!」のスローガンのもと、高学年を中心に熱心に取り組み、競技に、応援に全力を出し切りました。

特に応援は、感染症対策のため、大きな声を出すことを控え、ダンスパフォーマンスを中心に行いました。赤組白組ともに工夫を凝らした振り付けを行い、見ごたえのある応援になりました。また、伝統のよさこいも全校一丸となって舞い、大きな拍手をいただきました。

閉会式では、全身で喜びを表す子もいれば、涙を流す子もいて、全員が本気で取り組んだスポーツフェスティバルになりました。



## 春日新田小学校 「春日新田小学校大運動会」 5月23日(日)



昨年度は中止になった運動会ですが、来校する方を制限したり、時間を短縮したりして開催することができました。当日は風の強い日となってしまいましたが、子どもたちは自分の競技に力を発揮したり、友達を応援したりと運動会を楽しみました。

赤白応援団長の威勢のよい宣誓で始まった運動会は、徒競走、学年部種目、応援合戦、さらに高学年のリレーと軒並み見応えのある競技ばかりでした。つつい力が入り大きな声を出して応援したくなりましたが、子どもたちの活躍を拍手で称え、充実した時間となりました。また、感染対策をしながら学校運営協議会や町内会の皆様にも来ていただきました。当日はPTA役員の方々にもお手伝いをいただきました。たくさんの方に支えられて新しい形での運動会ができたことを感謝いたします。ありがとうございました。



## 北諏訪小学校 「すくすく運動会」 5月25日(火)

「大空にとどけ！ 心のおうえん歌」のスローガンのもと『すくすく運動会』を行いました。例年、地区との合同開催ですが、コロナ禍のため、学校開催として半日日程で行いました。大声を出せない運動会でしたが、子どもたちは、全ての競技に全力で取り組みました。徒競走の他にも、全校で披露する北諏訪小学校伝統の演技「よさこい」や全校種目「北諏訪じゃんけん合戦」なども行いました。また、高学年の金管演奏もさらに運動会を盛り上げました。

手拍子や鳴子で精一杯応援する姿、競技を終えて応援席に帰ってきた仲間に労いの言葉を掛けている姿等、たくさんの輝いている子どもたちの姿が見られた素晴らしい運動会でした。



**体力つくい  
1校1取組運動**



**北諏訪小：**2年ぶりに行った体力テストの結果から体力向上の課題を明確にした取組を行うとともに、ICT機器を活用した学び合いを取り入れた体育授業の改善を図ります。

**保倉小：**体力テストの結果をもとに自校の課題を明確にして、授業の導入時に効果的な運動を取り入れます。検定カードを活用し、遊びを通じた体力向上に取り組みます。

**有田小：**体力テストなどから体力の実態を把握します。また、授業で活用したシートなどを綴るファイルを6年間通じて持たせ、自身の成長や記録の向上を実感する一助とします。

**春日新田小：**体力テスト前に「体力アップタイム」を休み時間に実施し、体を動かしました。体育の時間には、カードを活用しながら、自身の伸びに気付けるよう体力づくりを進めます。

**直江津東中：**昼休みには、グラウンドや体育館でボール運動をしたり、中庭で鬼ごっこをしたりして積極的に体を動かす生徒が多くいます。体力テストの結果から、課題である「全身持久力」や「握力」の向上に体育授業で取り組んでいきます。

# 令和3年度 直江津東地域青少年育成会議

今年度も昨年度と同様に、コロナウイルス感染症対策として、直江津東地域青少年育成会議総会  
は中止といたしました。令和3年度の委員、地域コーディネーター、事務局は書面議決の結果、下記  
の通りお願いすることとしました。

直江津東地域の子育て目標

「地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども」

## 委員

役職	部会所属	学校区	氏名	備考
会長	地域部会	春日新田小学校	熊木 敏夫	有田地区町内会長協議会長
副会長		北諏訪小学校	白木 朝雄	北諏訪地区町内会長協議会長
		保倉小学校	吉田 文雄	保倉地区町内会長協議会長
幹事		直江津東中学校	高橋 邦夫	直東学園理事長
委員		北諏訪小学校	西條 榮市	北諏訪小学校後援会代表
委員		保倉小学校	瀬下 正則	保倉小学校後援会代表
委員		有田小学校	山崎 栄一	有田地区小学校後援会代表
会計監査		有田小学校	内山 幸一	有田小学校後援会代表
会計監査		春日新田小学校	高橋 秀樹	春日新田小学校後援会代表
幹事		保護者会部会	直江津東中学校	原田 伊佐央
委員	北諏訪小学校		宮田 真	PTA会長
委員	保倉小学校		伊藤 和幸	PTA会長
委員	有田小学校		鈴木 博美	PTA会長
委員	春日新田小学校		渡辺 欽一	PTA会長
副会長	すこやか ネットワーク部会	直江津東中学校	相澤 顕	学校長
委員		北諏訪小学校	高橋 哲	学校長
委員		保倉小学校	泉 実	学校長
委員		有田小学校	中野 博史	学校長
委員		春日新田小学校	亀山 浩	学校長
幹事	幼児教育部会	春日新田小学校	牛木 洋子	有田保育園長
委員		北諏訪小学校	宮川 智枝子	北諏訪保育園長
委員		保倉小学校	柳澤 奈美	保倉保育園長
幹事	学園支援本部	春日新田小学校	青木 ユキ子	地域コーディネーター
委員		北諏訪小学校	立花 利恵	地域コーディネーター
委員		保倉小学校	梅澤 龍子	地域コーディネーター
委員		有田小学校	秋山 千恵子	地域コーディネーター
委員		直江津東中学校	樺沢 早苗	地域コーディネーター
委員		有田小学校	木原 満男	直東学園事務局長

## 地域コーディネーター (◎は長)

学校区	氏名	事務局分担
直江津東中学校	高橋 邦夫	
北諏訪小学校	立花 利恵	ボランティア(北諏訪小窓口)
	室岡 由美子	地域青少年まちづくりワークショップ
	塚田 和子	ボランティア
保倉小学校	梅澤 龍子	ボランティア(保倉小窓口)
	山本 隆子	コーディネーター委員会委員 地域青少年まちづくりワークショップ
	神村 眞由美	ボランティア
	宮川 久子	地域青少年まちづくりワークショップ
有田小学校	秋山 千恵子	ボランティア(有田小窓口)
	樺沢 早苗	ボランティア(直江津東中窓口)
	木原 満男	◎地域青少年まちづくりワークショップ
春日新田小学校	青木 ユキ子	◎ボランティア(春日新田小窓口)

## 事務局

事務局長	直江津東中学校	高橋 邦夫 (外部団体関係機関担当)
事務局次長	有田小学校	木原 満男 (外部団体関係機関担当補佐)
		鎌倉 穂波
事務局員		(庶務・会計)
学校別 事務局長	直江津東中学校	渡辺 勝行
	北諏訪小学校	小林 克樹
	保倉小学校	小川 豊雄
	有田小学校	荒井 隆浩
	春日新田小学校	杉田 卓裕

# 直江津東中学校区生活のきまり

～ 大人と子ども 一緒に相談しよう 我が家のルール ～

## 1 安全

- ゲームセンターやゲームコーナー、カラオケボックスなどには、子どもだけでは行きません。行く時は「責任もてる大人」と一緒に行動します。

- 動画、ゲーム、SNS等の使用のモラルやマナーを守ります。

★小学生は8時まで、中学生は9時までの利用とします。

★1日の使用時間は2時間以内にします。

★保護者と一緒に使い方の約束をしてから使います。

「ゲームレーティング」を確認しましょう。ゲームレーティングとは「性・暴力・反社会的行為などの表現内容」に基づいて、対象年齢を表示する仕組みであり、約束を考える際に材料のひとつになります。



※小・中学生には不適切な表現内容が含まれるというマークです。

上越市P連「アウトメディア宣言」でも同じ目安を示しています。

- 自転車等による、危険な走行はしません。

危険走行…とび出し、二人乗り、手放し運転、斜め横断、並列走行、スピード出し過ぎ、交差点での一時不停止、信号無視、無灯火運転など、「自分や周りの人を危険にさらす走行」のこと

★決められた範囲で乗ります。家の人の許可を得て乗ります。

★幼児、児童の自転車走行時のヘルメット着用は、「努力義務」になっています。自分の命を守るためにも着用しましょう。

★降雪時、凍結時は自転車に乗りません。

★**キャスターボード(フレイブボード)、キックボード、ローラースケートなどは、歩道や車道では乗りません。**



平成30年6月、上越市内において「キャスターボード」で遊んでいた小学生が亡くなる交通事故が発生しました。このような事故を繰り返さないため、上越市内では、公道における使用が教育長名で禁じられています。

## 2 外出

- 「だれと」「どこへ」「何をしに」「いつ帰る」を、家の人に必ず伝えます。

- 朝、午前9時までは遊びに出かけません。

- 帰宅の時刻を守ります。ただし、家庭・地域の行事等がある場合は除きます。

★【小学生】**夕方5時まで**に帰宅します。

※夏休み中は「夕方6時まで」に、冬休み中は「夕方4時30分まで」に帰りましょう。

★【中学生】**夜7時**以降の子ども同士での外出は禁止です。

## 3 外泊

- 子ども（児童・生徒）だけで、友人宅へ外泊することは望ましくありません。

まず、相手のご家庭の都合を配慮しなければなりません。また、外泊によって「心配な行動（夜間外出、喫煙・飲酒・薬物使用、有害サイトへのアクセス、SNSへの悪口書き込み…等）」が表出することも多いからです。